

赤ちゃんを揺さぶらないで

赤ちゃんの世話をすることは、やりがいがあってワクワクすることですね。でも、赤ちゃんがいつまでも泣き止みそうもないとき、とてもつらいものです。

赤ちゃんを何とか泣きやませようとして、**激しく揺さぶって**、その後ポンと放り投げてしまい、頭に衝撃を与えてしまい**後遺症を残した**、**死亡させてしまった**などの事故を耳にすることがあります。



生後5ヶ月までの多くの赤ちゃんは、特によく泣きます。

この時期は、何をしても泣きやまないといった、赤ちゃんの“泣き”の特徴があります。



赤ちゃんの泣き行動には終わりがきます
特徴と対処方法を理解しておきましょう。

泣きの特徴

パープルライニング (PURPLE) と呼びます

| | | | |
|----------|------------------|--------|--|
| P | Peak of crying | ピークがある | 生後2週間から週を追って泣くようになり、2か月前後でピークに達しその後減ります。 |
| U | Unexpected | 予想できない | どうしてなのか理由がわからない |
| R | Resists soothing | なだめにくい | 何をしても泣きやまない |
| P | Pain-like face | 痛そうな顔 | たとえ痛くなくても痛そう |
| L | Long lasting | 長く続く | 1日5時間以上泣くこともある |
| E | Evening | 夕方泣く | 午後から夕方にかけてよく泣く |

Q 「泣かれてイライラしたり

腹が立ったりすることは特別なこと…？」

A 「いいえ、誰にでも起こりうる気持ちです。

つらくて笑顔が出ないとき、イライラして自分を抑えられないことは誰にでもあります。」



よく泣く時期があることを知り、どう切り抜けるか、その気持ちをどうやって対処するかが大切です。

どうしたらいいの？

いろいろやったけど、泣きやまない
イライラしてしまう



●我慢しきれなかったら… ちょっとひと休み

お子さんを安全な場所に仰向けに寝かせ、数分離れ、自分の気持ちを落ち着かせてから赤ちゃんのもとへ戻り、様子を確認しましょう。トイレに行ったり、飲み物を用意したり、音楽をかけたりしてひと息つきましょう。



●決して赤ちゃんを叩いたり、激しく揺さぶったりしない

叩いたり投げつけたりすると同じように、赤ちゃんを激しく揺さぶると脳細胞が破壊され、脳が低酸素状態になります。その結果、次のような症状がみられます。

・元気がなくなる ・機嫌が悪くなる ・すぐに眠ってしまう状態 ・嘔吐
・けいれん ・意識障害(呼んでも答えない) ・呼吸困難 ・昏睡 ・死

このような状態がでたら、救急車を呼び一刻も早く
赤ちゃんを病院へ連れて行きましょう。

●赤ちゃんをお世話してくれる全ての人に知ってもらいましょう



この時期の特徴だとわかれば、心に余裕ができるのではないのでしょうか。
赤ちゃんのお世話をする人に
「どんなことがあっても揺さぶらない、暴力をふるわない」
ことをわかってもらいましょう。

話をすることで落ち着くこともあります。ぜひ下記へ相談してみてください。

| 相談先 | 電話番号 | 相談先 | 電話番号 |
|---------------------|--------------|---------------------|--------------|
| 北区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-387-1340 | 東区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-250-2340 |
| 中央区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-223-7237 | 江南区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-382-4340 |
| 秋葉区役所 健康福祉課健康増進係 | 0250-25-5685 | 南区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-372-6375 |
| 西区役所 健康福祉課健康増進係 | 025-264-7423 | 西蒲区役所 健康福祉課健康増進係 | 0256-72-8372 |